

# Auto Capsule

ユーザーズマニュアル ver.1.2.JP

---

COWON AE1

## + 著作権および商標

- + Auto CapsuleとCOWONIは(株)COWONシステムの商標です。
- + 本マニュアルのすべての内容は著作権によって保護されています。
- + 本マニュアルに使われているその他の製品およびサービスは当該所有者の登録商標です。
- + プログラムのすべての権利は(株)COWONシステムにあり、著作権によって保護されています。
- + 本マニュアルは現在の製品仕様を基準にして作成されています。ここに記載されている各種の例文、図表や例示用の写真、製品の詳細の機能およびH/W・S/Wのスペックは別途の予告なしに変更される場合があります。

## 注意事項

- + 本マニュアルは現在の製品を基準にして作成されており、編集上のミスや記載漏れがある場合があります。
- + 重要な録画ファイルは随時にバックアップを取ってください。
- + データ損失や録画エラーについて、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。



COWON AE1

# CONTENTS

## ご使用になる前に

---

5

- ご使用の際の注意事項
- パッケージの付属品
- 各部の名称と機能
- 製品の設置
- 常時電源の接続

## 製品の使い方

---

14

- はじめに
- ライブビュー
- メインメニュー
- 録画の転換
- ファイルの再生
- 環境設定



COWON AE1

# CONTENTS

28

## 基本機能

---

動作ステータスLEDの説明

ボタン動作の説明

高温保護機能

ファイルの管理

32

## 追加説明

---

製品仕様

故障の自己診断

# 1

## ご使用の際の注意事項

ユーザーの安全や財産上の損害などを防ぐための内容ですので、次の事項を必ず熟知したうえでご使用ください。(警告や注意事項を守らなかった場合に発生した事故に対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください)

- + 製品の取り付け場所を変更する場合、カメラの角度が変わる可能性がありますので、製品を取り付けてからカメラの角度を調整し、録画された映像を確認してください。間違った位置に取り付けた場合、正常な録画動作が行われない可能性があります。
- + 本製品はカメラを利用して走行映像を記録するため、トンネルへの進入・進出の際や、被写体の陰影対比の差が大きい場合(強い逆光など)、まったく光がない真夜中などは、撮影した映像の画質が低下することがあります。製品起動中は録画されません。起動完了後に安全運転してください。
- + 映像録画の妨げとなる、過度に濃い着色フィルムは使用しないでください。着色フィルムの濃さによって映像のホワイトバランスが崩れるおそれがあります。
- + 重大な事故によって製品そのものが破損したり、電源が切れたりした場合、事故映像が録画されていない可能性もあります。
- + 本製品を任意で分解・改造しないでください。感電および製品の破損、録画された映像データ損失の原因となります。内部点検、整備、修理はお買い上げになった販売店やサービスセンターに依頼してください。
- + 最適な画質を確保するために、フロントガラスを録画前にきれいにしてください。
- + ブラックボックスのレンズに異物(指紋など)が付いている場合、録画映像に悪影響を与えるため、レンズは常にきれいな状態で維持してください。
- + ブラックボックスのmicroSDカードの挿入口などに、金属類や引火性のものが入らないようにしてください。火災や感電の原因となります。

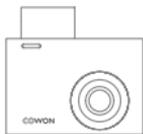
# 1 ご使用の際の注意事項

- + ブラックボックスの内部に、水、または異物が入った場合は、ただちに電源をオフにし、サービスセンターに修理を依頼してください。
- + 運転中は操作しないでください。交通事故の原因となります。
- + 製品の定格電圧以外の電圧は使用しないでください。爆発および火災、故障の原因となります。
- + 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在する危険性のある場所では、本製品を使用しないでください。引火や爆発の原因となります。
- + 幼児や子供、またはペットの手足が届くようなところには保管しないでください。小さな付属品を飲み込む恐れがあります。ペットのよだれが大量にバッテリーの内部に入り、ショートを起こして爆発する危険があります。
- + 夏場に密閉された車内や直射光線の当たる場所など、温度の高いところに放置しないでください。製品の外観、または内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となります。
- + レンズやブラックボックスに無理な力を加えると、故障の原因となるのでご注意ください。
- + 製品は運転する人の視野を遮らない場所に取り付けてください。交通事故の原因となります。
- + ブラックボックスを長時間使用する場合、内部で発生した温度によって接触する部位が火傷を負うおそれがあります。特に、長時間使用してからMicroSDカードを取り外すときは金属部に触れないようにしてください。
- + ブラックボックスを布やその他のカバーなどで覆わないでください。熱がこもって外観が変形したり、火災の原因になるおそれがあります。

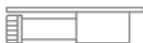
## 1 ご使用の際の注意事項

- + 車内を掃除するときは製品に水やワックスなどを直接噴射しないでください。製品の故障および感電の原因となります。
- + 製品および部品を使用するときは、(株)COWONシステムで販売している正規品を使用してください。弊社以外の製品および部品の使用による故障や事故に対しては、(株)COWONシステムは責任を負いかねます。
- + 製品に化学物質や洗剤などを使用しないでください。やわらかい布を使って軽く拭ってください。
- + 可燃性ガスおよび爆発性ガスなどが大気中に存在する危険性のある場所では、本製品を使用しないでください。一引火や爆発の原因となります。
- + 長期間使用しない場合は、電源ケーブルを製品から取り外してください。車のバッテリーが放電したり、火災の原因になったりするおそれがあります。製品の損傷および車の損傷に対する責任はユーザー側にあります。
- + シガージャックケーブルを抜くときや差し込むときに、ぬれた手で触らないでください。感電のおそれがあります。
- + 電源ケーブルががたつかないようにしっかり差し込んでください。接点が不安定な場合、火災の原因となります。
- + 損傷したシガージャックケーブルは使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- + 個人情報保護法及び関連法令により、録画及び録音機能を利用して保存されたデータに対する法的責任は使用者側にありますので、製品利用時はご注意ください。

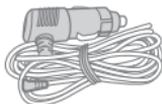
## ■ パッケージの付属品



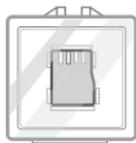
ブラックボックス本体



製品の据置台



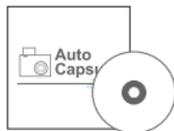
シガージャック



microSDカード



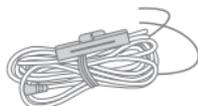
microSDカードリーダー



マニュアル&PCブ  
ーCD、クイックガイド



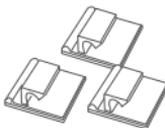
両面テープ



常時電源供給装置  
(別売)



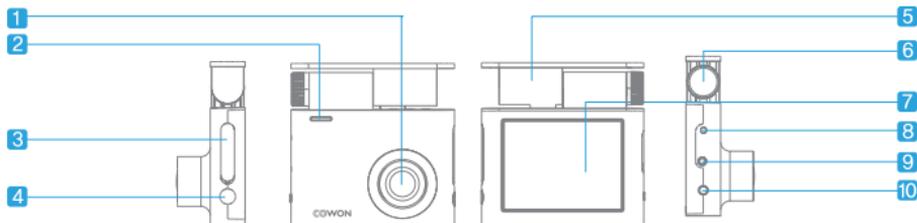
外付けGPS受信機  
(別売)



コード整理クリップ  
(3個)

- 両面テープは据置台に貼られた状態で提供される場合があります。
- 製品の構成は仕様によって異なることがあり、お客様の理解を助けるためのものですので実物と違う場合があります。

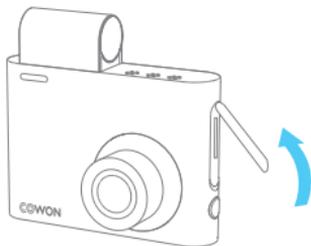
## ■ 各部の名称と機能



番号	名称	機能説明
1	カメラレンズ	車の前方を撮影します。
2	動作ステータスLED	各種の動作ステータスを表示します。
3	メモ리카ード保護カバー	メモ리카ードスロットに差し込まれたメモ리카ードを保護するカバーです。
4	録画ボタン	短く押すと、録画を開始してイベントファイルに保存します。長押しすると、メモ리카ードの安全な取り外しを実行します。
5	据置台	ブラックボックスを車に固定します。
6	固定ネジ	ブラックボックスの本体を据置台に装着した後、本体が動かないよう固定するネジです。
7	LCD	録画中の映像を確認したり、メニューを利用してブラックボックスを操作できます。
8	電源端子	シガージャック電源ケーブルや常時電源ケーブルを接続します。
9	GPS端子	外付けGPSを接続します。
10	電源ボタン	録画中に長押しすると録画が終了し、電源が切れます。再び長押しすると電源が入り、録画を開始します。

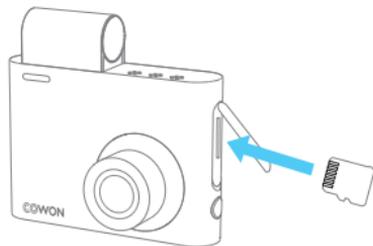
## 製品の設置

1



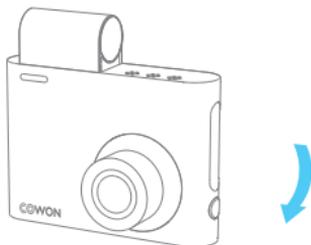
保護カバーを図のように開いて分離します。

2



メモ리카드를製品に差し込みます。

3



保護カバーを閉じます。

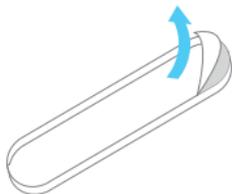
4



製品据置台にAE1を装着します。

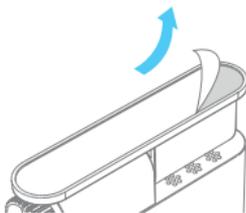
## ■ 製品の設置

5



両面テープの片面の剥離紙をはがします。

7



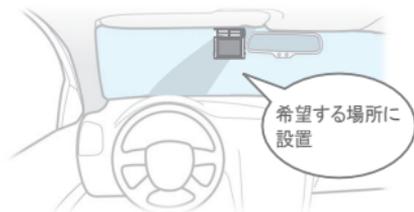
貼り付けた両面テープの剥離紙をはがします。

6



両面テープの剥離紙をはがした面を据置台に貼り付けます。

8

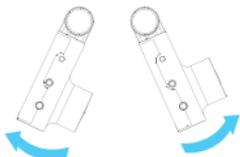


- 一度固定してからはがすと接着力が著しく低下するため、慎重に位置を決めてから設置してください。
- 両面テープは据置台に貼られた状態で提供される場合があります。

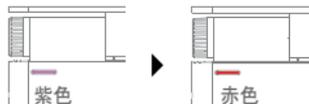
## ■ 製品の設置



シガージャック電源ケーブルを接続します。



カメラレンズの方向を調整します。



紫色のLEDが赤色に変わり、録画がはじまります。

- LCD画面を見ながら便利に調整できます。
- 録画面で車のボンネットが約10～20%見えるよう、カメラレンズの角度を調節します。
- 固定ネジは締めつけ過ぎないようにしてください。内部固定構造により、ぶれることなく角度を維持します。

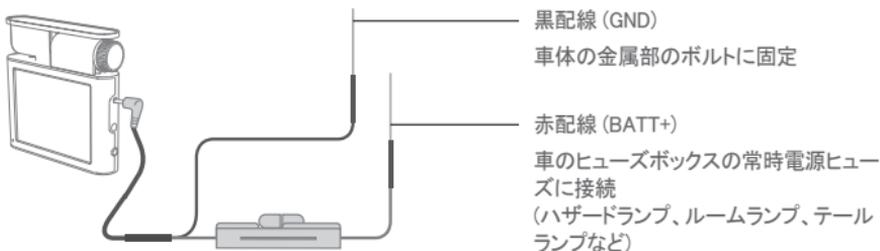


10% - 20%

## ■ 常時電源の接続

常時電源に接続すると、車のエンジンを停止した駐車の状態でも録画ができます。

- 常時電源を設置するときは内容を完全に熟知してから設置してください。
- 各配線は必ず指定された位置に固定しなければなりません。  
(配線を誤って接続すると、逆電圧が発生してブラックボックスに深刻な問題が発生するおそれがあります)



- 常時電源は車の内部にあるヒューズボックスから配線を接続して設置してください。

# 2

## はじめに

### 1 起動する

車のエンジンをかけたり、ブラックボックスの右側にある電源ボタンをONにすると、ブラックボックスの電源が入ります。起動するとブラックボックスは自動で走行録画の状態になります。走行録画の映像がLCD画面に表示されます。ホームボタンをタッチするとメインメニューが表示されます。

### 2 録画画面の映像

カメラが撮影している映像がLCD画面に表示されます。

### 3 ホーム(メインメニュー)

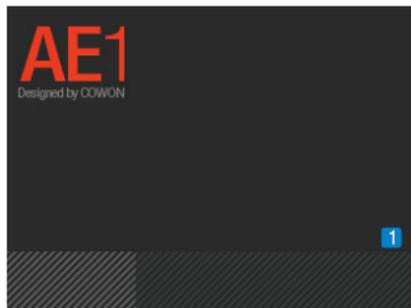
左側のホームボタンをタッチすると、メインメニューが表示されます。

### 4 画面OFF

画面OFFボタンをタッチするとLCD画面が消えます。LCD画面をタッチすると再びライブビュー映像を表示します。

### 5 画面キャプチャー

ブラックボックスのカメラを利用して映像画面をキャプチャーできます。



## ・ライブビュー

### 1 録画表示

録画中には赤い表示が点滅します。

### 2 録画モード

録画モードを表示します。

- 録画中：走行録画です。
- イベント：イベントが発生しました。
- 駐車：駐車録画モードです。

### 3 GPS接続表示

GPSが接続されると緑の表示が点灯し、接続が切れると表示が消えます。

### 4 時間表示

現在の録画時間を表示します。

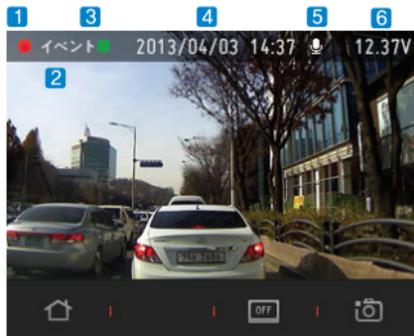
### 5 音声録音表示

 音声録音がOFFの状態です。

 音声録音がONの状態です。

### 6 車の電圧表示

現在の車のバッテリー電圧を表示します。



## ■ メインメニュー

ライブビューLCD画面でホームボタンをタッチすると表示されるメニューです。

### 1 ライブビュー

カメラが撮影している映像がLCD画面に表示されます。

### 2 録画の転換

走行録画モードと駐車録画モードを選択できます。

### 3 ファイルの再生

保存されている映像を確認できます。

録画リストをタッチすると映像を自動再生します。

### 4 画面OFF

画面OFFボタンをタッチするとLCD画面が消えます。LCD画面をタッチすると再びライブビュー映像が表示されます。

### 5 環境設定

ブラックボックスの環境設定画面に移動します。



## ■ 録画の転換

メニュー画面で「録画の転換」をタッチすると表示される画面です。

### 1 走行録画

走行録画モードで録画を開始します。

走行録画ファイルは一般ファイルまたはイベントファイルとして記録されます。

### 2 駐車録画

車の動きが小さくなってGセンサーの値が一定レベル以下に下がり、車のバッテリー電圧が一定の電圧以下の状態になると、走行録画を中止して録画待機状態に切り替わった後、外部の衝撃や動きを感知した場合にのみ自動で一定時間録画するモードです。



## ■ ファイルの再生

メニュー画面で「ファイルの再生」をタッチすると表示される画面です。

### 1 「前へ/次へ」ボタン

撮影した映像の数が多く場合、前/次のページへ移動するボタンです。現在のページ/総ページ数を表示します。

### 2 映像再生リスト

映像再生リストを順に表示します。

4件の映像リストを表示し、映像名をタッチするとすぐに映像を再生します。

### 3 録画ボタン

左側の録画ボタンを押すと、ライブビュー画面に移動します。

### 4 映像再生選択ボタン

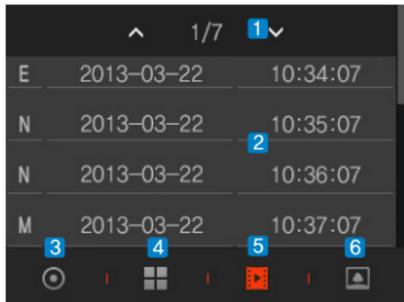
再生する映像の種類を選びます。全体(A)/一般(N)/イベント(E)/モーション(M)に区分されています。

### 5 映像選択ボタン

録画された映像ファイルを再生するために選択します。

### 6 写真ファイル選択ボタン

キャプチャーした写真ファイルを再生するために選択します。



## ■ ファイルの再生

映像再生リストで映像名をタッチすると、すぐに映像を画面に再生します。

### 1 映像再生画面

録画した映像をLCD画面に再生します。

現在再生中の映像が終わると、次の録画映像を再生します。

### 2 録画ボタン

録画ボタンを押すとライブビュー画面へ移動します。

### 3 前のメニューへ

前のメニュー(映像再生リスト)へ移動します。



## ■ ファイルの再生

映像再生中に映像をタッチすると、映像再生制御ボタンが表示されます。

### 1 ファイル名表示

現在再生している映像のファイル名を表示します。

### 2 前の映像を見る

現在再生中の映像の前の映像を再生します。

### 3 再生/一時停止

現在再生中の映像を一時停止させたり、再び再生できます。ボタンをタッチするたびに一時停止(⏸)と再生ボタン(▶)が交互に表示されます。

### 4 次の映像を見る

現在再生中の映像の次の映像を再生します。

### 5 現在再生時間表示

現在再生している映像が再生された時間を表示します。

### 6 総再生時間表示

現在再生中の映像の総再生時間を表示します。

### 7 再生バー

再生バーを指で動かして希望する場面に移動できます。



## ■ ファイルの再生

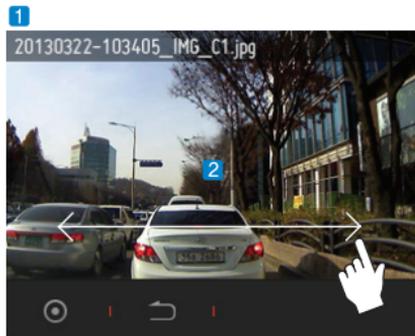
写真再生リストで写真名をタッチすると、すぐに写真が画面に表示されます。

### 1 ファイル名表示

現在表示している写真のファイル名を表示します。

### 2 前/次の写真を見る

写真の表示画面を左/右にスライドすると、その写真の前/次の写真を表示します。



## ■ 環境設定

メインメニューで環境設定ボタンをタッチすると、環境設定画面に移動します。

### 1 画面設定

明るさの設定、ライブビューOSD自動非表示、スクリーンセーバー、座標を設定します。

### 2 音声設定

音声録音、タッチ音、ボリュームを設定します。

### 3 オートカプセル設定

バッテリー遮断設定、バッテリー遮断時間、衝撃感度、LCD OFF、録画画質、自動駐車転換を設定します。

### 4 時間設定

日付、時間を設定します。

### 5 SDカードの設定

メモリーカードのフォーマット、フォーマットの予約、自己診断を設定します。

### 6 オートカプセル情報

製品名、ファームウェアバージョン、保存容量の使用状態を表示します。



## ■ 環境設定

### 画面設定画面の説明

#### 1 明るさの設定

LCDの明るさを4段階に設定できます。

#### 2 ライブビューOSD自動非表示

ライブビュー上段に表示される録画ステータスバーを非表示にする機能です。非表示ONを選択すると、ライブビューのOSDが10秒後に消えます。

#### 3 スクリーンセーバー

スクリーンセーバーをONにすると、最後にタッチしてから1分後に時計が表示されます。スクリーンセーバーはLCDが「常にON」の状態でのみ動作します。

#### 4 座標設定

使用中のLCD画面のタッチエリアが合わない場合に、タッチエリアを修正する機能です。



## ■ 環境設定

### 音声設定画面の説明

#### 1 音声録音

映像を録画する際に音声を録音するかどうかを選択できます。OFFに設定すると映像のみ録画します。

#### 2 タッチ音

画面をタッチする際にタッチ音を鳴らすかどうかを選択できます。

#### 3 ボリューム

音声案内などのスピーカーのボリュームを調節します。



## ■ 環境設定

### オートカプセル設定画面の説明

#### 1 バッテリー遮断設定

車のバッテリー電圧が設定された遮断電圧以下に下がると、ブラックボックスの電源が遮断されます。

#### 2 バッテリー遮断時間

駐車録画時間を設定します。

駐車録画中のみ作動し、設定時間が過ぎるとブラックボックスの電源が遮断されます。

#### 3 衝撃感度

衝撃センサーの感度を設定できます。BIKEに設定すると、衝撃が加わってもイベントが発生しません。

#### 4 LCD off

LCD画面のタッチがない場合に自動で画面が消える時間を設定します。「常にON」の場合は、スクリーンセーバーがONになっていれば1分後に画面保護モードに切り換わり、時計が表示されます。

#### 5 録画の画質

録画映像の画質を設定します。

高画質、一般画質、低画質の3段階に設定できます。

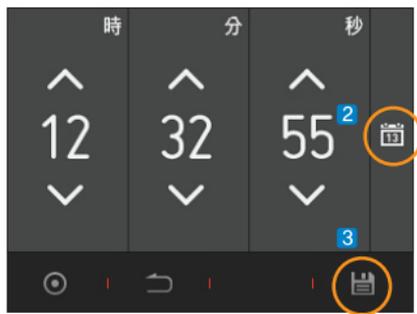
#### 6 自動駐車転換

振動や衝撃を感知し、駐車モードから走行録画モードに転換する感度を設定します。OFFに設定すると駐車モードに転換せず、走行録画モードでのみ作動します。



## ■ 環境設定

### 時間設定画面の説明



- 1 カレンダーを選択すると日付設定画面に移動
- 2 時計を選択すると時間設定画面に移動
- 3 3番ボタンを押すと設定した時間を保存します。  
環境設定では全て保存ボタンを押さなければ設定値が適用されません。

## ■ 環境設定

### メモ리카ード設定画面の説明

#### 1 フォーマット

メモ리카ードの安定性のため、独自のフォーマット機能を提供します。

#### 2 フォーマットの予約

安定性のため、2週間ごとにフォーマットを行うよう予約できます。

#### 3 自己診断

フォーマットを実行してからの経過時間を測定して知らせ、必要な場合にはフォーマットするようにします。



## 3

## 動作ステータスLEDの説明

区分	動作ステータス	色	点滅周期
録画	走行録画	赤色	ゆっくり点滅
	駐車録画中待機	赤色	常に点灯
	イベント	赤色	速い点滅
	モーション	赤色	一般点滅
システム	起動、メモリカード不在	紫色	常に点灯
	ファームウェアのアップグレード	紫色	常に点灯
	フォーマット	紫色	一般点滅
	メモリカードの安全な取り外し	青色	一般点滅
	ファイルの再生、環境設定モード	青色	常に点灯

## ■ ボタン動作の説明



## ■ 高温保護機能

### LCD保護機能

高温の環境ではLCDの保護のため、LCDが消えた状態で録画します。  
LCD保護機能を実行する際、「高温保護のため、LCDが消えた状態で作動します。」という音声案内と共に、紫色のLEDが録画状態に従って点滅します。温度が下がると自動でLCDがONになります。

### システム保護機能

LCD保護の録画状態で車内の温度が上昇し続けると、製品保護のため「高温保護のため、録画を中止します。」という音声案内と共に電源が切れます。温度が下がれば自動で電源がONになります。システム保護状態でも、電源ボタンを長押しすると電源がONになります。

## ■ ファイルの管理

録画ファイルはメモ리카ードのAUTOCAPSULEフォルダ内のRecordingsフォルダとImagesフォルダに保存されます。Recordingsフォルダは、一般ファイルとモーションファイルを保存するNormalフォルダと、イベントファイルを保存するEventフォルダで構成されています。Imagesフォルダはキャプチャーしたイメージファイルを保存します。

フォルダ	種類	ファイル名	メモリ割り当て
Images	キャプチャー	年月日-時分秒_IMG_C1.jpg	1%
Event	イベント	年月日-時分秒_EVT_D1.avi	20%
Normal	一般	年月日-時分秒_NOR_D1.avi	75%
	モーション	年月日-時分秒_MOT_P1.avi	

Ex) 2013年5月1日12時10分10秒に録画した一般ファイル : 20130501-121010\_NOR\_D1.avi  
2013年5月1日12時10分10秒に録画したイベントファイル : 20130501-121010\_EVT\_D1.avi  
2013年5月1日12時10分10秒に録画したモーションファイル : 20130501-121010\_MOT\_P1.avi  
2013年5月1日12時10分10秒にキャプチャーしたイメージファイル : 20130501-121010\_IMG\_C1.jpg

- 各フォルダの容量を超過すると、該当するフォルダごとに最も古いファイルから削除します。

## 4

## 製品仕様

項目	仕様	備考
レンズ	6 Glass構造 F2.0	
イメージセンサー	200万画素 CMOS Image sensor	1/32インチ
LCD	2.8インチ広視野角 Full Touch LCD	320X240
録画解像度	1280 X 720P, 30fps	
視野角	120°	
ビデオエンコード	H.264 (MPEG-4 AVC)	
録画ファイルの種類	一般ファイル、イベントファイル、モーションファイル)	
オーディオ録音	マイク	
バッテリー電圧管理	電圧感知回路を内蔵	自動終了電圧の設定、自動終了タイマー、自動駐車録画の実行2)
ソフトウェア	PCマネージャー(Windows PC用)	ファイルの再生、画面キャプチャー、設定、映像保存、走行速度表示3)、地図表示4)
サイズ及び重量	78.5 X 55.1 X 16.8mm / 82g (据置台を含めて111g)	
ファイルの再生、画面キャプチャー、設定、	-20°C ~ 60°C	
電源	DC 12V~24V	
その他	Gセンサー、スピーカー、動作ステータスLED、外付けGPS端子	

- 1) モーションファイルは常時電源に接続した場合のみ利用できます。
- 2) 常時電源ケーブルを接続した場合に作動します。
- 3)~4) 外付けGPS受信機を利用して録画したファイルのみ確認できます。

## ■ 故障の自己診断

- 映像が録画できません。  
メモ리카ードを確認してください。メモ리카ードは一定の寿命があるため、長期間使用すると正常に作動しなくなる場合があります。  
定期的にメモ리카ードをフォーマットしてご使用になることをお勧めします。
- 音声録音ができません。  
音声録音がOFFになっていないか確認してください。音声録音が正常に設定されている場合は、ブラックボックスのマイク穴が詰まっていないか確認してください。
- LCD画面が表示されません。  
車のエンジンがかかると自動でLCD画面が表示されますが、多少時間が過ぎると画面が消えるように設定されています。LCD画面のどの部分でもタッチすると画面が表示されます。万ータッチしても画面が表示されない場合は、当社のサービスセンターまでお問い合わせください。
- PCマネージャーで地図が表示されません。  
本製品は外付けGPSの接続に対応します。ブラックボックス本体に接続する外付けGPSのケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでも問題が解決されない場合は、外付けGPSの位置が衛星から受信できないように遮られていないか確認してください。  
(外付けGPS受信機は別売です。)
- 録画した映像がぼやけます。  
カメラレンズをきれいに掃除してください。また、車のフロントガラスも常にきれいに掃除してください。
- 電源が入りません。  
付属品のシガージャックを利用しても電源が入らない場合は、電源ケーブルを製品から一度外してから再び接続してみてください。それでも電源が入らない場合は、当社のサービスセンターまでお問い合わせください。

## ■ 故障の自己診断

- 走行中の映像が揺れます。

ブラックボックスの据置台がしっかりと固定されているかどうか確認してください。固定されていない場合は、透明な両面テープを利用して製品を固定してください。

- 画面が暗く表示されます。

ガラスのカーフィルムの強度により画面が暗く表示される場合があります。このような場合には、カーフィルムの色が薄い部分にブラックボックスを設置し直すか、LCD画面の環境設定メニューで明るさの設定を調節してください。

- メモリカードにファイルをコピーできません。

フォーマットしてから使用してみてください。フォーマット後にもファイルのコピーができない場合は、当社のサービスセンターまでお問い合わせください。

DIGITAL PRIDE.

**©©WON**

---